

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,706	6.8	358	△14.1	380	△12.7	172	△25.1
28年3月期第2四半期	6,280	8.8	416	15.6	436	9.0	230	4.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 187百万円(△13.0%) 28年3月期第2四半期 215百万円(0.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	36.64	-
28年3月期第2四半期	48.91	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,414	5,984	48.2
28年3月期	11,281	5,839	51.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 5,984百万円 28年3月期 5,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	9.00	9.00
29年3月期	-	0.00			
29年3月期(予想)			-	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,433	7.0	664	26.4	670	9.1	310	17.7	65.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	4,746,000株	28年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	40,889株	28年3月期	40,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	4,705,111株	28年3月期2Q	4,705,111株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策や雇用・所得情勢の改善等を背景に、緩やかな景気回復基調と見られるものの、年初から円高の進行や株式市場の停滞により景気回復に対する下振れ懸念もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループを取り巻く環境は、主原料（魚粉・小麦粉・大豆等）の価格は高止まりで推移しているほか、消費者の生活防衛意識から低価格志向は根強く、企業間の価格競争が続く厳しい環境で推移しました。

このような環境の下、当社グループは市場動向を見極めながら積極的な販売活動を展開するとともに、売上成長を模索しながら原価や経費抑制に自助努力し、利益水準の維持・向上に取り組んでまいりました。

一方、事業領域の拡充や販路拡大など攻めの体制を推し進めるなか、平成28年7月に株式会社なかしま（富山県南砺市）を子会社化いたしました。なお、同社は、当第2四半期連結会計期間末（平成28年9月30日）を支配獲得日とみなして処理しているため、同社の損益業績は当第2四半期連結累計期間に含まれておりません。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は67億6百万円と前年同期と比べ4億26百万円（6.8%）の増収、営業利益は3億58百万円と前年同期と比べ58百万円（14.1%）の減益、経常利益は3億80百万円と前年同期と比べ55百万円（12.7%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億72百万円と前年同期と比べ57百万円（25.1%）の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①水産事業

水産事業におきましては、主原料調達先である中南米の輸入魚粉マーケットは、中国や欧州の需要が多く堅調であることから高値基調を維持しており、今後の原料相場見通しは需給バランス次第という見方が強く不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、エビ飼料類は、台風の影響が懸念されたものの養殖環境の影響も少なく販売は順調に推移し前年同期を上回りました。ハマチ飼料類は、受託生産販売の減少で前年同期を下回りましたが、マダイ飼料類、ヒラメ飼料類及び雑魚飼料類は、新規開拓やシェア拡大が図られたことにより前年同期を上回りました。

子会社のマリンテック株式会社（愛知県田原市）の水産種苗の生産販売及び永屋水産株式会社（東京都中央区）の養魚用飼料の販売も順調に推移し前年同期を上回りました。

その結果、売上高は46億62百万円と前年同期と比べ4億12百万円（9.7%）の増収となりました。セグメント利益は4億46百万円と前年同期と比べ40百万円（10.1%）の増益となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、雇用・所得環境の改善が進んでいるものの、個人消費は生活防衛意識の高まりとともに、企業間の価格競争が続く厳しい事業環境で推移しました。

このような状況のなか、皿うどん類は、取扱店の販路拡大やシリーズ化の「辛麺皿うどん」、「辛辛麺皿うどん」を新発売するなどしたほか、カップ類（五穀スープ、カップ皿うどん）、棒状ラーメンが順調に推移し前年同期を上回りました。即席めん類は、前年同期並みに推移しましたが、うどん類及びそうめん類は、PB商品（販売店独自の商品）等の減少から前年同期を下回りました。

子会社のコスモ食品株式会社（東京都大田区）のカレールー商品等の生産販売は順調に推移し前年同期を上回り、株式会社向井珍味堂（大阪市平野区）のきな粉及び香辛調味料等の生産販売は、前年同期並みに推移しました。

その結果、売上高は20億44百万円と前年同期と比べ13百万円（0.7%）の増収となりました。セグメント利益は1億24百万円と前年同期と比べ63百万円（33.8%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ11億33百万円増加し、124億14百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が8億92百万円、機械装置及び運搬具が1億54百万円、のれんが1億48百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ9億87百万円増加し、64億29百万円となりました。これは、主として買掛金が4億31百万円、長期借入金が2億91百万円、短期借入金が2億99百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億45百万円増加し、59億84百万円となりました。これは、主として利益剰余金が1億30百万円、その他有価証券評価差額金が13百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月17日開示の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、株式会社なかしまの発行済株式の全てを取得したことに伴い子会社となったため、連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,906,823	1,969,595
受取手形及び売掛金	1,503,081	2,395,867
商品及び製品	521,577	504,826
仕掛品	100,040	131,924
原材料及び貯蔵品	1,257,751	1,062,573
その他	152,412	159,243
貸倒引当金	△13,272	△13,668
流動資産合計	5,428,414	6,210,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,351,450	1,364,872
機械装置及び運搬具(純額)	655,821	810,687
土地	2,046,363	2,097,087
その他(純額)	244,302	230,719
有形固定資産合計	4,297,937	4,503,367
無形固定資産		
のれん	410,689	559,212
その他	52,871	48,658
無形固定資産合計	463,560	607,871
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,131,831	1,133,852
貸倒引当金	△40,482	△40,774
投資その他の資産合計	1,091,348	1,093,077
固定資産合計	5,852,847	6,204,316
資産合計	11,281,262	12,414,678

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	639,526	1,071,486
短期借入金	1,785,231	2,084,538
未払法人税等	153,851	170,830
賞与引当金	122,330	128,812
その他	430,865	349,506
流動負債合計	3,131,804	3,805,174
固定負債		
長期借入金	1,555,146	1,846,576
役員退職慰労引当金	431,265	438,054
退職給付に係る負債	74,719	76,116
その他	248,932	263,875
固定負債合計	2,310,064	2,624,621
負債合計	5,441,868	6,429,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	4,734,930	4,864,985
自己株式	△28,968	△28,968
株主資本合計	5,768,261	5,898,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,737	87,400
繰延ヘッジ損益	△2,606	△834
その他の包括利益累計額合計	71,131	86,566
純資産合計	5,839,393	5,984,883
負債純資産合計	11,281,262	12,414,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,280,657	6,706,669
売上原価	4,871,021	5,233,368
売上総利益	1,409,636	1,473,300
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	195,093	206,751
貸倒引当金繰入額	4,649	—
給料及び賞与	226,904	244,619
賞与引当金繰入額	49,009	48,901
退職給付費用	11,080	9,358
役員退職慰労引当金繰入額	9,246	10,330
その他	497,040	595,323
販売費及び一般管理費合計	993,024	1,115,283
営業利益	416,612	358,016
営業外収益		
受取利息	494	972
受取配当金	3,166	2,699
為替差益	525	—
雑収入	29,027	46,961
営業外収益合計	33,213	50,633
営業外費用		
支払利息	11,542	9,488
為替差損	—	16,169
雑損失	2,179	2,137
営業外費用合計	13,721	27,795
経常利益	436,104	380,854
特別利益		
投資有価証券売却益	18,165	—
特別利益合計	18,165	—
税金等調整前四半期純利益	454,269	380,854
法人税、住民税及び事業税	144,740	169,151
法人税等調整額	79,421	39,302
法人税等合計	224,161	208,453
四半期純利益	230,108	172,401
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	230,108	172,401

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	230,108	172,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,222	13,662
繰延ヘッジ損益	△3,911	1,771
その他の包括利益合計	△14,133	15,434
四半期包括利益	215,974	187,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,974	187,835
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	454,269	380,854
減価償却費	143,878	169,056
のれん償却額	39,312	41,647
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,892	△142
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,434	2,142
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,246	6,788
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,021	1,396
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△18,165	—
受取利息及び受取配当金	△3,660	△3,671
支払利息	11,542	9,488
為替差損益(△は益)	1,181	16,169
売上債権の増減額(△は増加)	△626,497	△825,511
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,280	227,486
仕入債務の増減額(△は減少)	397,799	397,256
未払消費税等の増減額(△は減少)	△75,065	49,043
その他	△66,205	△129,607
小計	257,704	342,397
利息及び配当金の受取額	3,430	3,738
利息の支払額	△11,428	△9,124
法人税等の還付額	860	2,051
法人税等の支払額	△118,215	△157,909
営業活動によるキャッシュ・フロー	132,351	181,152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△371,186	△415,069
定期預金の払戻による収入	266,143	440,252
有形固定資産の取得による支出	△218,711	△318,341
有形固定資産の売却による収入	27	1,603
無形固定資産の取得による支出	△2,357	△1,800
投資有価証券の取得による支出	△35,357	△5,483
投資有価証券の売却及び償還による収入	37,480	13,591
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,105	△245,797
その他	△23,510	△69,241
投資活動によるキャッシュ・フロー	△349,577	△600,285
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△410,000	248,088
長期借入れによる収入	400,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△323,233	△230,545
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,273	△4,168
配当金の支払額	△42,345	△42,345
財務活動によるキャッシュ・フロー	△376,852	521,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,181	△16,169
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△595,260	85,726
現金及び現金同等物の期首残高	1,924,379	1,427,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,329,118	1,513,483

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,249,665	2,030,991	6,280,657	—	6,280,657
セグメント利益	405,674	188,380	594,055	△157,951	436,104

(注) 1 セグメント利益の調整額△157,951千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費154,677千円、営業外収益4,648千円、営業外費用7,922千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「水産事業」セグメントにおいて、奄美クルマエビ株式会社の全株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これによりのれんが367,746千円発生しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,662,296	2,044,372	6,706,669	—	6,706,669
セグメント利益	446,520	124,712	571,233	△190,378	380,854

(注) 1 セグメント利益の調整額△190,378千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費174,570千円、営業外収益4,586千円、営業外費用20,393千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「食品事業」セグメントにおいて、株式会社なかしまの全株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これによりのれんが190,170千円発生しております。